

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	たてしなふれ愛むら拡充事業
事業主体 (連絡先)	立科町社会福祉協議会 (長野県北佐久郡立科町大字芦田 2523 電話 0267-56-3721)
事業区分	(2) 保健、医療、福祉の充実に係る事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	427,647円 (うち支援金: 342,000円)

事業内容

- ・開催日 平成29年11月3日(金)
- ・場所 たてしなふれ愛園及び
たてしな人権センター前駐車場
- ・参加団体数 25団体(220名) 入場者数(650名)
町民に広く参加を呼びかけるために、町民活動センター、高齢者福祉施設、障がい者福祉施設、民生児童委員会、福祉団体、ボランティア団体、保育園・小・中・高校等への説明会を実施し、参加・出店を募った。参加者主体のイベントとなるように、実行委員会形式で参加団体主体で運営し、参加団体からの意見や要望を反映した。事業の実施にあたっては、様々な交流の創出を意識し、連携を図っていきながらイベントを実施した。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①参加者主体のイベントとなるよう実行委員会形式で行った。
- ②町民活動センター、高齢者福祉施設、障がい者福祉施設、自治会、民生児童委員会、福祉団体、ボランティア団体、保育園・小・中・高校等への説明会を実施し、参加・出店を募った。その結果前年度より3団体増、参加者14名増加した。
- ③全戸配布のチラシやのぼり旗、万国旗の使用により、より多くの方にイベントを周知できた。その結果前年度より入場者が250名増加し、様々な世代の交流ができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今後、町民主体のイベントにしていくことを目指し、さらなる参加者の増加や発展的展開を探っていく。障がい者や高齢者・子どもなど様々な住民が交流できる場となるように意識し、人々が生き生きと暮らす共生型社会の実現にむけ、イベントを継続していきたい。



【ステージ発表の様子】

【目標・ねらい】

- ①参加者主体
- ②参加者の増加
- ③入場者の増加

※自己評価【B】

【理由】参加者主体のイベントとなり、参加者団体数、入場者数共に増加した。町民の周知も少しずつ多くなっているため、次回はさらなる増加が期待できる。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある